

教育研究評議会議事録（第225回）

日 時：令和5年 4月27日（木） 15時00分～16時22分

場 所：事務局第一会議室

出席者：小川、藤代、喜多、水野、小藤田、山本、松岡、海妻、宮川、林、横山、境野、
八代、伊藤、木村（賢）、田代、村上、南、木村（直）、宮本、織田、松林、清水、
天木、柴垣、小林、成田、萩原、澤井、木崎、小出

配付資料

- | | |
|-------|--|
| 参考1 | 国立大学法人岩手大学教育研究評議会規則 |
| 参考2 | 岩手大学教育研究評議会評議員名簿 |
| 参考3 | 令和5年度定例会議開催日程 |
| 議題1 | 国立大学法人岩手大学学長選考・監察会議規則 |
| 議題2 | 理系学部改組による機能強化に係る戦略的再配分（案）について |
| 議題3 | 教育学研究科カリキュラム改革（案）について |
| 議題4 | 名誉教授の称号授与について |
| 報告1 | 第3期中期目標期間(6年目終了時)に係る業務の実績に関する評価の結果について |
| 報告2 | 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定の申請結果について |
| 報告3 | 第4期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領等について |
| 報告4 | 提携講義（教養教育科目「現代社会と経済」）について |
| 報告5-1 | 教員人事に関する報告について（教員養成支援センター） |
| 報告5-2 | 教員人事に関する報告について（教育学部） |
| 報告6 | 附属学校外部評価結果報告 |
| 報告7 | 役員会報告（第553回） |
| 報告8 | 学長・副学長会議報告（第258回～第260回） |
| 報告9 | 令和4年度入試委員会（第8回、臨時第3回）記録 |

議事に先立ち、前回議事録について原案のとおり確定することとした。

また、本会議規則及び名簿を確認し、新任者の紹介があった。

議 題

1. 国立大学法人岩手大学学長選考・監察会議委員について

学長から、国立大学法人岩手大学学長選考・監察会議委員について諮る旨が述べられ、初めに、学長選考・監察会議の委員の選出については、以下の選出理由に基づき行っていくことの説明があった。

- ①. 学長選考・監察会議の委員は、経営協議会及び教育研究評議会それぞれの会議の中で互選により委員を選任。
- ②. 経営協議会からは、地域の産業界、金融機関及び報道機関、沿岸被災地並びに同窓

会関係と様々な分野からの意見を反映すべく選任。

- ③. 教育研究評議会からは、全学教職員の意見を広く反映すべく各学部の評議員1名ずつと事務局長を選任。

次いで、事務局長が4月1日から交代となったことに伴い、新たに事務局長となった林評議員を学長選考・監察会議委員として選出したいことが提案された。

審議の結果、原案のとおり了承された。

2. 理系学部改組による機能強化に係る戦略的再配分（案）について

学長から、理系学部改組による機能強化に係る戦略的再配分（案）について諮る旨が述べられ、資料に基づき、第4期中期目標期間財務見通しに従い、令和5年度以降、毎年度各学部の教員ポイントから1%を留保し戦略的資源再配分の原資としているが、この戦略的資源再配分を、令和7年度に向けた農学部改組及び獣医学部新設並びに理工学部改組による機能強化のさらなる推進のために再配分したいことが提案された。

具体的な配分ポイントは、理工学部におけるデザイン・メディア分野の機能強化として220ポイント（教授2名分）、農学部の水産分野、動物科学分野、食品健康科学分野の機能強化として220ポイント（教授2名分）、獣医学部における産業動物分野の機能強化として110ポイント（教授1名分）とすることが説明された。

審議の結果、原案のとおり了承された。

3. 教育学研究科カリキュラム改革（案）について

学長から、教育学研究科カリキュラム改革（案）について諮る旨が述べられ、次いで、田代教育学研究科長から、資料に基づき、カリキュラム改革の趣旨が教育実践力の基盤である“授業力の充実発展”を図ることである旨が述べられ、その実現のため、プログラム区分、修了単位数及び開設科目の見直しを行うことについて説明があった。

審議の結果、原案のとおり了承された。

4. 名誉教授の称号の授与について

学長から、名誉教授の称号の授与について諮る旨が述べられ、次いで、推薦部局の各部部长から、資料に基づき、候補者の功績等の説明があり、審議の結果、候補者11名に名誉教授の称号を授与することが了承された。

なお、学長から、称号授与式は、開学記念行事（6月3日（土）午後開催予定）の午前中に第一会議室で行う予定である旨の付言があった。

5. その他

なし

報 告

1. 第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務の実績に関する評価の結果について
藤代理事から、資料に基づき、第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る業務の実績

に関する評価の結果について、本学の最終評価結果、国立大学全体の評価状況について報告があった。

2. 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定の申請結果について

藤代理事から、資料に基づき、第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定の申請結果について、本学は不採択であった旨の報告があった。

3. 第4期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領等について

藤代理事から、資料に基づき、第4期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領について説明があり、自己評価が中期計画単位ではなく、評価指標に対して行う形式に変更となったことから目標値の達成状況で評価される形式となったこと、評価基準としては「全ての評価指標」が達成水準を満たしていることを求められる内容となっていることについて報告があった。

4. 提携講義について

喜多理事から、資料に基づき、提携講義「現代社会と経済」の設置について報告があった。

5. 教員人事に関する報告について（農学部、教育学研究科）

教員人事について、資料に基づき、農学部長から2件、教育学研究科長から1件の報告があった。

6. 附属学校外部評価結果報告について

7. 役員会報告について

8. 学長・副学長会議報告について

9. 入試委員会報告について

資料のとおり。

10. その他

なし

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の5月25日（木）の15時から開催することが述べられた。